

【観光圏の区域】静岡県浜松市、湖西市の区域

【観光圏整備計画の期間】平成26年7月1日～平成31年3月31日

【主たる滞在促進地区】館山寺温泉滞在促進地区

【主たる滞在促進地区における数値目標の設定(平成26年度→平成30年度)】

宿泊客数: 430,000人(うちインバウンド13,000人)→450,000人(うちインバウンド45,000人)

来訪者満足度: 72.0%→75.0%、旅行消費額: 32,300円→34,000円

宿泊者のリピーター率: 30.0%→40.0%、滞在プログラム参加者数: 7,000人→8,000人、滞在プログラム満足度: 70.0%→70.0%

【観光地域づくりプラットフォーム】公益財団法人 浜松観光コンベンションビューロー

【国の支援及び特例内容】

・認定観光圏案内所の整備(6ヶ所)

主たる滞在促進地区の取組

- ・浜名湖Wi-fi環境整備事業(H27～H29)
- ・サイクリストの宿認定制度の導入(H26～H28)
- ・着地型新商品開発事業(H26～H30)
- ・ガイド等人材開発事業(H26～H30)
- ・食の浜名湖ブランドブラッシュアップ事業(H29～H30)

主たる滞在促進地区を起点とした滞在プログラムの取組

浜名湖の真ん中に立って浜名湖そのものを体験するプログラムを中心に、そこから見える周辺の魅力を体験するプログラムを開発する。

○浜名湖に立ってみる推進事業(H26～H30)

- ・湖の真ん中自然体験プログラム開発
- ・たっってみる観覧会
- ・浮き小屋活用プログラム開発
- ・日本の魅力体験(外国人向け体験プログラム開発と情報発信)事業

○ぐるっと浜名湖トレイル事業(H26～H30)

- ・ダイバーシティトレイル開発
- ・浜名湖サイクリング重点整備
- ・遠江八景の活用推進

社会資本整備事業との連携

- ・浜名湖周遊自転車道の整備
- ・浜名湖舟運とSAゲートウェイ整備事業
- ・浜名湖Wi-fi環境整備事業



凡例

滞在促進地区

交流地区

交流地区の取組

○表浜名湖交流地区

関所や宿場町という街道文化の歴史的視点、浜名湖の海産物を活かした食文化及び浜名湖そのものを活用した滞在プログラムの開発に取組む。

○奥浜名湖交流地区

「湖北五山」をはじめとする歴史的資源、文化、地域住民との接点が多い地域で、それらを活用した滞在プログラムの開発に取組む。

○北遠交流地区

豊富な自然資源や秋葉神社等の歴史的資源を活用した滞在プログラムの開発に取組む。

住民に対する意識啓発取組

- ・行政・産業・大学・市民の連携による観光まちづくり啓発事業(H26～H30)
- ・地域住民が観光地域づくりを行う機運の醸成を図るために、シンポジウム、ガイダンスやワークショップ等を開催し、マルチメディアによる発信、共有を実施する。

ワンストップ窓口機能取組

- ・体験プログラムの商品造成・PR・予約システムの一元化の推進し、ワンストップ窓口機能とお客様対応の認定案内所のレベル向上を行う。
- ・滞在コンテンツの商品一元化と受入プラットフォームから発展した日本版DMO機能の構築